

# 青木かのチャンネル

2025 夏号 (第52号)

発行：青木かの事務所 〒104-0052 中央区月島3-3-13-502



**青木かの プロフィール**  
長崎市生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。  
元テレビ局アナウンサー・通訳・英語講師。  
水辺を活用した街づくりと災害対策に取り組む。  
小型船舶免許1級所持。防災士。

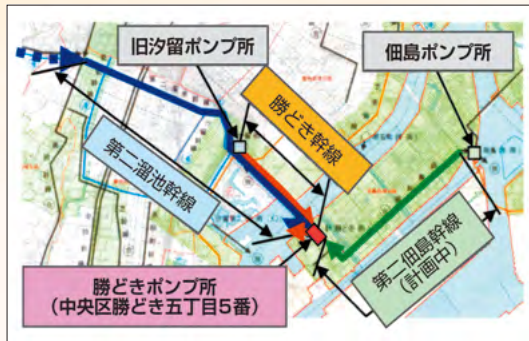
## 都心部の豪雨・水害対策の切り札

ここ数年、**急激な気候変動による夏の豪雨・水害から、町をいかに守るかが、新たな災害対策として重要**になってきました。中央区も例外ではありません。

実は、都心の地下に巨大なトンネルが彫られていることをご存じでしょうか？このトンネルの目的は、

- ①浸水被害対策
- ②河川の水質改善：都心では多くが「合流式下水道」であり、**大量の雨水が一気に下水道に流れ込むと、汚水と一緒に川に放流されることを防ぐ**
- ③水を排出するためのポンプ所の整備

この③が勝どき5丁目、隅田川添い築地大橋のたもとにあります。2023年、環状2号線の開通に伴って永田町や丸の内等、都心部の排水を担っていた旧汐留ポンプ所が廃止となり、**新たに整備が進んでいるのが、この「勝どきポンプ所」**です。



現在、まだ工事中ですが、「中央区議会環境建設委員会」で視察に行ってきました。

現場を見てまず驚いたのが、**周囲をマンションに囲まれていること**です。隅田川の方向だけひらけていますが、それ以外は**コの字型にマンションが近接しており、1ミリの誤差も許されません。**

また重機(ケーソンショベル)は、現場の作業所屋内でモニターを見ながら操作されていました。まるでクレーンゲームのようです。

掘り進む過程で大量の土砂が出ますが、この土砂の運搬には舟が使われていますので、工事車両は大幅に減らせると思います。

**令和15年完成予定。完成すれば、水害対策・水質浄化策が、大きく前進します。**



※視察中に撮った写真は公開できないため、これらの写真は築地大橋から自分で撮ったものです

### 中央区から発信中!

Find us on   
青木かの 検索

@kanoaoki  
http://twitter.com/kanoaoki/

YouTube 青木かのチャンネル  
https://www.youtube.com/user/kanoaoki

Blog 月島日記  
https://ameblo.jp/kano-aoki/

皆様のご意見・ご要望は

青木かのオフィシャルサイト [Kanoaoki.com](http://Kanoaoki.com)

青木かの

または電話 (090) 4829-4702まで



オフィシャルHP



ブログ

# 月島地域で学校が足りなくなる？

※資料は全て7月1日開催の晴海まちづくり協議会より

## 月島地域における児童生徒数の想定

令和7年度当初			最大想定※			
月島地域	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	確保可能教室数	不足教室数
小学校	4,570人	147学級	6,725人	216学級	198室	▲18室
中学校	1,108人	34学級	1,975人	65学級	46室	▲19室

※最大想定…人口推計に加え、晴海地区の住宅供給フレームや月島地域における今後の大規模な住宅設備の想定から算出した最大の児童生徒数及び学級数並びにその時点で不足する教室数

月島地域(佃・月島・勝どき・豊海・晴海)において最大想定で小学生が2155人、中学生が867人増加。これは晴海フラッグの晴海西小・中学校の2校分にあたり

ます。教室数では、小学校が18室、中学校が19室足りなくなることになります。区はこれまで学校の増改築・改修・学区の変更等、さまざまな方法で対処してきましたが、もう区有地だけでは対応できない。そこで、晴海2丁目の公有地を借り受けることになりました。

- ①まず、都から借受けた土地(赤で囲んだ部分)は「区立学校用地」として新しい学校(校舎)を建てる。
- ②この校舎には、月島第一小学校が現在地で建て替えをする間、仮移転し、建て替えが終了したら現在地に完成した新しい校舎にもどる。
- ③その後、この校舎へ、晴海中学校が移転する。(仮ではなく本移転)

都から借り受ける期間については、あくまで想定ですが令和11年4月1日から30年間。

区にとっては、まさにウルトラCの施策です。

以前から指摘している通り、まちづくりの手法(市街地再開発事業による高層マンションの建設等)を大きく変える時期にきているのではないのでしょうか? 規制や、事業者へのさらなる負担(地域貢献策)等が必要だと思います。



## 晴海西小学校も教室が足りなくなる

晴海西小学校については、まず晴海5丁目に整備し、その後4丁目に第二校舎を整備することが決まっていたましたが、晴海フラッグ等大物物件への入居スピードが想定より早く進んでおり、第二校舎の開設時期を令和11年4月に前倒ししたものの、それでも間に合わない。

そこで苦肉の策として、小学校側の運動場に仮設の増築棟が整備されることになりました。

ここには令和9年度～10年度の小学校1年生の全学級が入る予定で、その後は解体・復旧されます。

## 参考:晴海西小学校・晴海西中学校児童生徒数推計(令和7年度推計暫定値)

(児童生徒数は各年度当初の数)

年度		R7	R8	R9	R10	R11	R12
小学校	児童数	1,122(人)	1,404	1,531	1,637	1,780	1,865
	学級数	34(学級)	44	47	50	54	56
中学校	生徒数	356(人)	447	462	510	546	583
	学級数	10(学級)	13	14	16	17	18
計	児童生徒数	1,478(人)	1,851	1,993	2,147	2,326	2,448
	学級数	44(学級)	57	61	66	71	74
普通教室数		45(室)	60	60	60	90(※)	90(※)
教室数不足		-	-	1(室)	6	-	-

▲推計に使用した係数は令和6年度のものであることから、本推計は暫定値である。



### 〈スケジュール〉

- ・令和7年度
- ・令和8年7月～(予定)
- ・令和9～10年度
- ・令和11年度

- 設計
- 工事
- 使用
- 解体・復旧

### 〈仮設増築棟概要〉

- ・延べ面積 1,400㎡程度
- ・鉄骨造 2階建て
- ・普通教室 12室

給食については、自校在籍児童分+余力のある有馬小学校で調理し、晴海西小に配送されることになるそうです。

晴海2丁目公有地の利用も同じです。区内の子ども的人口が増えることは大変うれしいことですが、教育施設については、過去に例がないような工夫をしながら綱渡りをしている状況です。